

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 陽春の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして検査内容を変更いたします。ご利用いただいております先生方には、ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも当センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

※ 実施日 令和3年4月1日(木) ご依頼分より

◆対象項目：甲状腺刺激ホルモン (TSH) . . . 検査案内掲載ページ：P.34

|          | 新  | 現                   |
|----------|--|---------------------|
| 項目コードNo. | 0214   | 0208                |
| 基準値 (単位) | 0.610~4.230 ( $\mu$ IU/mL)   | 0.350~4.940 (ng/dL) |
| 変更の経緯    | 以前より、甲状腺刺激ホルモンの値は測定試薬間差が大きいことが指摘されており国際標準化にむけて議論されてきました。この度、日本臨床検査医学会標準化委員会から各試薬に補正係数を設定し国際臨床化学連合 (IFCC) が示す検査値に準拠した値及び基準範囲に合わせる方向性が示され、これを採用した為 |                     |

\*令和3年4月1日受付分より1年間、新法と現法を併記して報告します。

◆対象項目：ALPアイソザイム . . . 検査案内掲載ページ：P.18

|          | 新   | 現   |
|----------|---|---|
| 項目コードNo. | 0420  | 0406  |
| 基準値 (単位) | ALP1 : 0.0~5.3 (%)<br>ALP2 : 36.6~69.2 (%)<br>ALP3 : 25.2~54.2 (%)<br>ALP5 : 0.0~18.1 (%) | ALP2 : 36~74 (%)<br>ALP3 : 25~59 (%)<br>ALP5 : 0~16 (%) |
| 報告範囲     | 0.0~100.0   | 0~100   |
| 変更理由     | IFCC測定法試薬へ変更の為  |   |

◆ALP及びLD の新法と旧法の併記報告の終了について

アルカリフォスファターゼ (ALP)及び乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)について、新法と旧法を併記して報告しておりましたが、R3.3.31(水) ご依頼分にて終了します。

つきましては、R3.4.1(木)より新法のみ報告となりますので、ご了承ください。

令和3年3月